

「シックハウス症候群マニュアルー日常診療のガイドブック」

日本臨床環境医学会 編

単行本, 79ページ, 定価2,800円
(東海大学出版会, 2013年8月)

本年8月, 日本臨床環境医学会が, 国内では初めて医師向けの「シックハウス症候群マニュアル」を出版しました。本書には診断の手順だけでなく, シックハウス症候群の概念や歴史的背景, 最新の研究で得られた知見など, シックハウス症候群についての情報が幅広く収められています。また, この症候群の診断の困難さにも触れられており, 診断のために決め手となる臨床所見や確定診断に結びつく臨床検査が無い場合, 患者からの丁寧な聞き取りと他の疾病との区別によって, 初めて診断される病名であることも解説されています。

私の職場には, 時々大学生が研修に来るのですが, 医学生が来た時は, 盛りだくさんの講義とともに実習として自宅の空気測定をしてもらいます。一度に3~4人ですが, 毎回, 必ずと言って良いほど, パラジクロロベンゼンが指針値を超える家があります。彼らは, 解剖実習に使うホルムアルデヒドにはなじみが深いのですが, その他のシックハウス原因物質については知識が十分とは言えません。将来, 彼らが医師として病院に勤務し, シックハウス症候群の患者が来た時, 適切な診断ができるよう, シックハウスに対する認識を少しでも深めてもらいたいと考えています。

本書はシックハウス症候群について, 取り組みを始めようと考えていらっしゃる医師がいらしたら, 是非お勧めいただきたい1冊です。

(東京都健康安全研究センター環境衛生研究科 斎藤育江)

